

全医連だより

2024年10月22日号 NO.104

一般社団法人 全国医師国民健康保険組合連合会

第19回代表者会開催



10月12日、第19回代表者会が第62回全体協議会に先行し、出島メッセ101会議室で開催された。出席会員は、47医師国保組合であった。

会議の司会は、藤井 卓長（長崎県医師国保組合常務理事）が担当した。まず、第62回全体協議会主催九州ブロックを代表して、森崎正幸（長崎県医師国保組合理事長）が挨拶に立ち、続いて、

挨拶に立った近藤会長は、代表者会の定款上の位置づけと、審議される項目を説明し、日頃の全医連の事業へのご理解・ご協力に対し謝意を表し挨拶とした。

その後、森崎正幸（長崎県医師国保組合理事長）が議長に選出され、議事を進行した。議長は、全組合が出席しているので会議は成立と宣言し、議事に入った。

[議事]

- (1) 第1号議案 令和5年度の事業報告（案）について。空地理事が説明。
- (2) 第2号議案 令和5年度の会計収入支出決算（案）について。空地理事が説明。
令和5年度監査報告。釣船監事が報告。
（1）、（2）ともに全員一致で承認した。
- (3) 第3号議案 令和7年度の会費徴収額（案）について。空地理事が説明。全員一致で承認した。
- (4) 第4号議案 第62回全体協議会の運営について。森崎議長が説明。全員一致で承認した。
- (5) 第5号議案 第62回全体協議会における決議案について。蓮澤理事が朗読。
特に意見は出ず、全員一致で「原案」どおり承認された。
- (6) 第6号議案
・理事の選任について。
空地理事より、日本医師会松本吉郎会長から現城守国斗理事を佐原博之常任理

事に交代する旨の申し入れがあったことが報告され、全員一致で選任した。

- ・任期満了に伴う監事の選任について。

空地理事から、第19回代表者会の終結を以って満了となる濱島監事の後任を中部ブロックに推薦依頼したところ、鳥澤英紀岐阜県医師国保組合副理事長が推薦されてこられ。全員一致で選任した。

- (7) 第7号議案 次期全体協議会開催地について

中部ブロックが主催し、福井県が担当となることが承認され、大中正光福井県医師国保組合理事長が、抱負を述べた。

[閉会] 佐々木副会長が、閉会の挨拶に続き、閉会を宣言し終了した。

第62回全体協議会開催

10月12日、第62回全体協議会が、九州ブロックの主催、長崎県医師国保組合が担当し、長崎市の出島メッセ長崎1階「イベント・展示ホール」において開催された。

司会は、藤井卓長崎県医師国保組合常務理事とKTNの本田舞アナウンサーが担当。

まず、池田秀夫佐賀県医師国保組合理事長が開会の辞を述べ、続いて主催ブロックを代表して森崎正幸長崎県医師国保組合理事長が歓迎の挨拶を行った。

近藤邦夫全医連会長は、医師国保組合が抱える最大の問題は、第1に高額薬剤による高額医療費、第2が組合員（被保険者数）の減少、第3に高齢者負担金の増加、第4に定率国庫補助削減・廃止、第5に勤労者皆保険制度の導入に対する国保組合の対応策、であると述べた。また、全国47医師国保組合の将来について、統合・合併を含めた存続のための検討を進めたいとした。

来賓は、渡邊芳樹全協会長、羽生田俊参議院議員、自見はなこ参議院議員、長崎県知事（代理）、長崎市長が、それぞれ挨拶した。松本吉郎日本医師会会長は、出席を予定していたが、急遽公務のため欠席、城守国斗日本医師会常任理事が挨拶を代読した。なお、大石賢吾長崎県知事は、懇親会に出席され、挨拶を行った。

その後、議事（報告事項のみ）が行われ、全医連としての決議文が蓮澤浩明福岡県医師国保組合理事長により朗読された。

基調講演では、篠原彰国保問題検討委員会委員長が「国保問題検討委員会中間報告」について、特別講演は、ブライアン・バークガフニ長崎総合科学大学名誉教授/グラバー園名誉園長による「明治の長崎居留地で活躍した医師たち」について、であった。懇親会は、2階コンベンションホールにて盛大に行われた。

